

梅根悟 しげのぼ 教育學者、文學博士。明治二十六年九月十一日福岡縣生  
れ、昭和五十五年二月十二日没（一九三二—八〇）。昭和八年東京文理科大  
學卒。小學教士等、中學校校長等を経て、二十一年埼玉縣川口市助役  
となり、社會科川口プランニング案、實施。その後東京教育大學教授、四  
十一年和光大學を創設、學長就任。四十五年自教組の教育制度検討委  
員會會長。日本教育學會會長、日本生活教育連盟委員長と務むる。

著書 『初等教授改革論』（昭和十六年九月十五日電文館）、『中等教  
育原理』（昭和二十七年十一月二十日電文堂新光社）『教職教養シリー  
ズ』、『ソヴェート教育紀行』（昭和二十八年七月二十一日紀伊國  
屋書店）『紀伊國屋新書』、『オーストリアおわれのチカラ』（共編、昭和  
四十年一月二十日電文堂新光社）、『ある教育者の遍歴』（梅根先生  
の退官を記念し新出版を祝う会編、昭和四十一年八月十五日電文堂新  
光社）等。